

平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ティーツー

コード番号 7610 URL <http://www.tay2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 康宏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO兼経営企画部長兼 経理財務部長 (氏名) 片山 靖浩

TEL 03-5408-5532

四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	9,194	△1.9	106	△70.3	102	△70.7	45	△72.4
22年2月期第1四半期	9,372	—	360	—	348	—	163	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	87.30	—
22年2月期第1四半期	326.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
23年2月期第1四半期	11,495	—	5,274	—	44.9	9,968.26
22年2月期	11,335	—	5,318	—	46.0	10,048.21

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 5,161百万円 22年2月期 5,209百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	130.00	—	170.00	300.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	150.00	—	150.00	300.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	18,300	△3.9	300	△54.3	280	△54.5	140	△44.9	270.40
通期	42,000	0.6	1,050	△13.0	1,000	△11.1	500	△32.6	965.72

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期第1四半期 551,400株 22年2月期 551,400株

② 期末自己株式数 23年2月期第1四半期 33,652株 22年2月期 32,926株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 23年2月期第1四半期 517,784株 22年2月期第1四半期 501,823株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、アジア向けを中心とした輸出・生産の回復、政府によるエコカー減税やエコポイントなどの景気対策の効果等により、企業の業況判断や個人消費に持ち直しの動きが見られるものの、本格的な景気回復には至らず先行きの不透明感は拭えない状況が続いております。当社グループの属する小売サービス業につきましても、個人所得の減少傾向が続き、依然として厳しい状況にあります。

こうした経営環境の下、当第1四半期連結会計期間の売上高は9億9千4百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は1億6百万円（前年同期比70.3%減）、経常利益は1億2百万円（前年同期比70.7%減）、四半期純利益は、4千5百万円（前年同期比72.4%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（古本市場事業の概況）

古本市場事業におきましては、一部の店舗において大規模な店舗改装を行うなど店舗競争力の強化に努めてまいりました。新規出店といたしまして、古本市場名谷駅前店（兵庫県）、古本市場庄内店（大阪府）の出店を行いました。しかしながら、リサイクル品の売上が前年同期に及ばなかったことに加え、新規出店の初期費用の発生等により、当第1四半期連結会計期間における古本市場事業の売上高は8億4千2百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は3億9千5百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

（アイ・カフェ事業の概況）

アイ・カフェ事業におきましては、有料コンテンツの料金を店舗利用料と一緒に支払うことができるネットカフェ決済システム「Chariot（チャリオット）」を直営店全店に導入し、顧客サービスの強化に取り組みました。

連結子会社であるインターピア株式会社におきましては、店舗運営ソリューション関連事業が、既存取引先のPC入替等により好調に推移いたしました。こうした取組みにより、当第1四半期連結会計期間におけるアイ・カフェ事業の売上高は、6億6千9百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は、1千8百万円（前年同期比177.3%増）と黒字を定着させることができました。

（EC事業の概況）

EC事業におきましては、新品ゲームの予約でポイント2倍還元や期間限定の特価販売など各種販促活動の実施などによる売上拡大を図ってまいりました。しかしながら、昨今の消費環境の悪化の影響等により当第1四半期連結会計期間におけるEC事業の売上高は、1億1千6百万円（前年同期比6.0%減）となりました。一方利益の面では、オフィス統合等による経費削減効果により、営業利益は4百万円（前年同期は営業損失3百万円）と黒字に転換しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（財政状態の分析）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主に現金及び預金、有形固定資産、無形固定資産が減少した一方で、商品が増加したことにより、前連結会計年度末と比べて1億6千万円増加し、11億4千9百万円となりました。負債は、主に未払金、長期借入金、賞与引当金が減少した一方で、短期借入金が増加したことにより、前連結会計年度末と比べて2億4百万円増加し、6億2千2百万円となりました。純資産は、四半期純利益による増加があった一方で配当金の支払があったことにより、前連結会計年度末と比べて4千3百万円減少し、5億2千7百万円となり、自己資本比率は、44.9%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して1億2千9百万円減少し、8億8千7百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、3億5百万円の支出（前年同期は8千1百万円の収入）となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益1億円、減価償却費1億4千8百万円等であり、主な支出要因は、たな卸資産の増加2億8千5百万円、賞与引当金の減少1億1千2百万円、法人税等の支払8千6百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、1億9百万円の支出（前年同期は1億4千6百万円の支出）となりました。主な要因は無形固定資産の取得による支出7千万円、有形固定資産の取得による支出5千5百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、2億8千5百万円の収入（前年同期は1億5百万円の支出）となりました。主な要因は、短期借入金の増加による収入7億円、長期借入金の返済による支出2億7千5百万円、配当金の支払7千4百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の連結売上高、連結営業利益、連結経常利益、連結当期純利益は概ね計画通りに推移いたしました。従いまして平成23年2月期の連結売上高は、420億円（前期比0.6%増）、連結営業利益は10億5千万円（前期比13.0%減）連結経常利益は10億円（前期比11.1%減）、連結当期純利益は5億円（前期比32.6%減）を見込んでおり、平成22年4月19日付当社「平成22年2月期決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、上記の予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の実績等は業況の変化等により、上記予測と異なる場合があります。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

該当事項はありません。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税調等整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	970,642	1,099,745
売掛金	384,519	345,930
商品	3,956,794	3,660,633
その他	710,912	674,973
貸倒引当金	△467	△478
流動資産合計	6,022,401	5,780,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,186,222	1,191,759
その他(純額)	990,231	1,030,581
有形固定資産合計	2,176,453	2,222,340
無形固定資産	309,555	340,296
投資その他の資産		
差入保証金	1,558,561	1,551,864
その他	1,442,569	1,453,891
貸倒引当金	△13,929	△13,929
投資その他の資産合計	2,987,201	2,991,827
固定資産合計	5,473,210	5,554,464
資産合計	11,495,612	11,335,269
負債の部		
流動負債		
買掛金	973,094	995,379
短期借入金	1,300,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	784,509	867,832
未払法人税等	61,575	115,677
賞与引当金	—	112,363
ポイント引当金	282,205	277,855
その他	911,387	997,097
流動負債合計	4,312,772	3,966,206
固定負債		
長期借入金	997,332	1,189,533
退職給付引当金	203,521	196,803
役員退職慰労引当金	202,935	145,092
その他	504,093	518,739
固定負債合計	1,907,883	2,050,169
負債合計	6,220,655	6,016,375

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,507	1,165,507
資本剰余金	1,119,796	1,119,796
利益剰余金	3,126,109	3,169,049
自己株式	△249,199	△244,662
株主資本合計	5,162,214	5,209,690
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,009	△798
為替換算調整勘定	843	843
評価・換算差額等合計	△1,166	44
新株予約権	28,714	27,654
少数株主持分	85,193	81,505
純資産合計	5,274,956	5,318,894
負債純資産合計	11,495,612	11,335,269

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	9,372,236	9,194,581
売上原価	6,721,265	6,713,402
売上総利益	2,650,970	2,481,178
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	57,247	74,335
従業員給料及び賞与	446,317	454,789
パート・アルバイト給与	294,910	300,227
役員退職慰労引当金繰入額	3,192	58,347
退職給付費用	7,740	9,012
賃借料	498,466	494,755
減価償却費	131,196	133,172
その他	851,785	849,666
販売費及び一般管理費合計	2,290,857	2,374,307
営業利益	360,113	106,871
営業外収益		
受取利息	1,365	1,333
受取賃貸料	25,185	11,574
その他	8,661	6,272
営業外収益合計	35,212	19,181
営業外費用		
支払利息	16,391	13,249
不動産賃貸費用	30,930	10,726
その他	—	21
営業外費用合計	47,321	23,997
経常利益	348,004	102,055
特別利益		
貸倒引当金戻入額	272	—
新株予約権戻入益	—	64
保険解約返戻金	603	—
特別利益合計	876	64
特別損失		
固定資産除却損	6,293	1,186
減損損失	23,812	—
リース債務解約損	201	—
店舗閉鎖賃借契約解約損	15,200	—
特別損失合計	45,507	1,186
税金等調整前四半期純利益	303,373	100,932
法人税等	141,432	52,043
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,865	3,688
四半期純利益	163,805	45,200

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	303,373	100,932
減価償却費	159,836	148,483
減損損失	23,812	—
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△5,381	4,349
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△108,641	△112,363
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,091	6,718
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10,848	57,842
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△388	△10
受取利息及び受取配当金	△1,365	△1,333
支払利息	16,391	13,249
持分法による投資損益 (△は益)	△1,487	△547
長期貸付金の家賃相殺額	14,982	15,377
固定資産除却損	6,293	1,186
売上債権の増減額 (△は増加)	△103,164	△38,589
たな卸資産の増減額 (△は増加)	109,596	△285,027
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△169,385	△46,949
仕入債務の増減額 (△は減少)	△135,930	△22,285
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,951	△58,007
その他	27,487	13,777
小計	130,320	△203,196
利息及び配当金の受取額	127	85
利息の支払額	△16,904	△15,333
法人税等の支払額	△32,469	△86,917
営業活動によるキャッシュ・フロー	81,073	△305,360
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△54,004	△55,774
無形固定資産の取得による支出	△75,869	△70,072
差入保証金の差入による支出	△4,418	△5,341
差入保証金の回収による収入	3,112	23,441
その他	△15,131	△1,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,311	△109,496
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	260,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△277,837	△275,524
リース債務の返済による支出	△34,021	△60,163
自己株式の取得による支出	—	△4,558
配当金の支払額	△53,743	△74,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,602	285,754
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△170,841	△129,102
現金及び現金同等物の期首残高	1,308,023	1,016,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,137,182	887,177

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）

	古本市場事業 (千円)	アイ・カフェ事業 (千円)	E C 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,571,783	689,429	111,022	9,372,236	—	9,372,236
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,422	21	12,906	14,349	△14,349	—
計	8,573,205	689,450	123,929	9,386,585	△14,349	9,372,236
営業利益 (△は営業損失)	587,394	6,690	△3,535	590,549	△230,436	360,113

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）

	古本市場事業 (千円)	アイ・カフェ事業 (千円)	E C 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,428,237	660,368	105,974	9,194,581	—	9,194,581
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	909	9,511	10,462	20,883	△20,883	—
計	8,429,147	669,880	116,437	9,215,465	△20,883	9,194,581
営業利益 (△は営業損失)	395,405	18,549	4,278	418,233	△311,361	106,871

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売形態の種類を勘案して区分しております。

2. 各事業の内容

- (1) 古本市場事業……………店頭でのリサイクル品の買取・販売及び新品の販売、その他雑貨の販売及びリサイクル品の卸売り
- (2) アイ・カフェ事業……飲食店・喫茶店の経営及びインターネットを利用した情報提供サービス並びにインターネット施設向けシステム販売及び加盟店運営サポート
- (3) E C 事業……………インターネットによるリサイクル品の買取・販売及び新品の販売

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）において、海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。